

JERコンクリート補

改修協会(神戸市西区、事務局・日本ジックウ

内)は、下水道処理施設や管路施設、上水道関連施設等の水処理施設のコンクリート防食技術等の認定工法と、農業用水路・橋梁関連施設・港湾施設等のコンクリート構造物の補修・改修技術を取りそろえ、社会資本ストック施設の長寿命化に高品質な施工で応える「コンクリート補改修の専門技術者集団」。

上下水道等の社会資本の高普及時代を迎え、膨大な数のコンクリート製の施設がストックされる一方で、老朽化と劣化が進み、今後これらの施設を維持していくためには効果的な補修改修対策を計画的に実施することが急務となっている。

協会ではコンクリート防食で長年培われたコンクリート構造物の劣化要因の検証から補修技術開発、対策実施の経験を活かし、社会資本ストックにみられる各種コンクリ

### JERコンクリート補改修協会

## 高い防食性能「ジックボード工法」

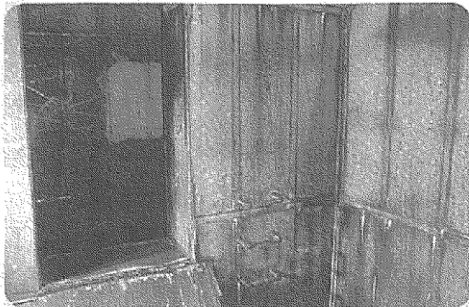
### 耐用年数50年へ LCC低減効果

形板を、無機系グラウト

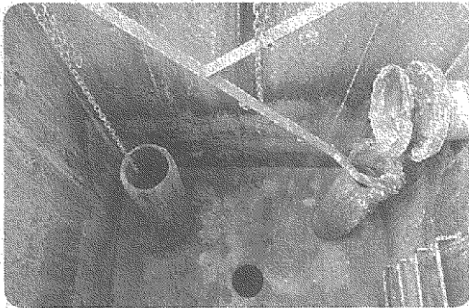
対象施設の構築環境・材にて躯体コンクリートンクD種(耐用年数10供用環境・維持管理特と一体化させ強固な防食年)とジックボード工法性・施工条件に適合性の被覆層を形成する、後張(同50年)で比較した場高い材質と工法の選択がり型シートライニング工合、50年間で補修コスト不可欠。協会認定工法は法である。非常に高い防を1億2300万円削減業界で唯一条件に合わせ食被覆性能を有しておできる結果となり、このて適材・適所の選択が可り、防食被覆層に要求さLCC低減効果を積極的能な各種材質の塗布型ラれる性能(耐硫酸性・遮にPR)していく。

インニング工法・シートラ断性・接着安定性)に關 このほか、同様の材料インニング工法・モルタルして施工後50年時点で各を使用した複合マンホールライニング工法等がライ種要求性能を満たすか検ル更生工法(ジックボーナナップされている。証し、耐用年数50年工法DM工法)・自立更生工

このうち下水道施設防として提案できることが法(ジックボード)工食の代表工法の「ジック 検証によって立証でき(法)についても耐用年数50年としている。処理場ボード工法」は、高耐久た。性ヒルエステル樹脂F 500㎡の処理槽を対から管路施設まで総合的RP板の裏面に立体ク象としたライフサイクルを一体成型した複層成コスト(LCC)試算モ



布設後14年経過施設



布設後20年経過施設